

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	新潟大学医歯学総合病院の転倒転落による 外傷発生高リスク入院患者数と因子の調査
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2019年7月1日から2024年6月30日までに入院した全患者を対象とします。 研究責任者：整形外科 助教 堀米洋二
③ 概要	新潟大学医歯学総合病院では入院時に転倒転落の危険度を評価し、転倒転落に起因する外傷を防いでいます。また患者が転倒した場合には、病院内の転倒・転落予防チーム（Faps）により多職種チームによる再度の転倒転落予防の介入を行ってきました。この活動により経年的に外傷を伴う転倒転落発生率は低下していました。しかし、最近では他の急性期病院に比べ転倒転落の発生率は低いものの、外傷発生率は上昇傾向にあり患者層の変化や新たな対策を検討することが必要になってきていると考えています。
④ 申請番号	2024-0235
⑤ 研究の目的・意義	当院では転倒転落による外傷を予防するために対策を講じ、結果として、転倒転落による外傷発生率は低下していましたが、近年は増加傾向です。その原因を2019～2024年度の入院患者さんから得られたデータを振り返って明らかにします。そして明らかとなった原因をもとに新たな対策を考案することを目的としています。
⑥ 研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年12月31日まで
⑦ 情報の利用目的及び 利用方法（他の機関へ 提供される場合はその 方法を含む。）	研究期間内の入院された患者さんの入院後転倒歴、転倒後重症度、転倒リスク・骨折リスクデータを使用します。データは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧ 利用または提供する 情報の項目	入院後転倒歴、転倒後重症度、転倒リスク・骨折リスク評価、年齢、性別、疾患、入院形式をデータ化し利用させていただきます。
⑨ 利用する者の範囲	新潟大学医歯学総合病院 総合リハビリテーションセンター
⑩ 試料・情報の管理に ついて責任を有する者	新潟大学医歯学総合病院 総合リハビリテーションセンター 理学療法士 栗原豊明
⑪ お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記 にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医歯学総合病院 総合リハビリテーションセンター 氏名：栗原豊明 Tel：025-227-2742 E-mail：toyoakikuri.sx3@nuh.niigata-u.ac.jp